

科 目	家庭基礎	学年・類型	1年 普通科	単位数	2
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート（愛媛県高等学校家庭科研究会）				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにします。</li> <li>生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、評価・改善、表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養います。</li> <li>よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養います。</li> </ul>				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活の中から課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。		
評価方法	定期考査、学習態度、実習態度、実習作品、ホームプロジェクト、ノート、課題提出等を含め、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	家庭科の学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭科の学習内容を知り、家庭科の学習を生活に生かし、地域に広げることを理解します。</li> </ul>			
	第1章 生涯を見通す 第6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの人生を自分らしいものにしていくためにどのように学習していけばよいのかを学びます。</li> <li>食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解します。</li> <li>日常的な食品の栄養的特質や調理上の特性について科学的に理解します。</li> <li>日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族にあてはめます。</li> <li>食品の選択や安全に関する必要事項を学びます。</li> </ul>			
	第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な調理実習を学び、日常食を作れるようになります。</li> <li>被服のさまざまな役割を理解します。</li> <li>被服材料の特徴を理解し、組成表示、取り扱い表示、サイズ表示などの意味について学びます。</li> </ul>			
二 学 期	第2章 人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した管理方法を学びます。</li> <li>持続可能で健康、安全な衣生活が営めるようにします。</li> <li>各ライフステージの特徴と課題を理解します。</li> <li>仕事と家庭の両立や、家庭と地域の結び付きについて理解します。</li> </ul>			
	第3章 子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学びます。</li> <li>子どもに対する理解を深めるために、様々な体験をします。</li> </ul>			
	第4章 超高齢社会を共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢期の心身の変化や特徴について学び、高齢者を支える制度や課題を考えます。</li> </ul>			
	第5章 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解します。</li> </ul>			
三 学 期	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内外の環境の安全性・快適性を考慮する必要性を理解します。</li> <li>高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解します。</li> </ul>			
	第10章 持続可能な生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫します。</li> </ul>			
	第11章 これからの生活を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめます。</li> </ul>			

